

### お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

1 静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます

●静和荘については、21年度より民間へ移管することに決定しました  
●老人福祉センターについては、教育・福祉センターに移転し、「高齢者福祉センター」として21年4月にオープンしました



2 子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます

●子育て、家事については、市内4カ所目となる「子育て支援センター」のオープンに向けた準備を進めました  
●介護については、7圏域に再編成し、各圏域に拠点となる「地域包括支援センター」を設置する計画を策定しました

3 障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます

●障害者就労相談員を配置し、就労支援体制を強化するとともに、専門的職員の配置や相談室などを整備し、地域における自立生活および社会参加を支援しました

4 活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります

●火山サミットについては、十勝岳火山防災フォーラムに参加し、関係自治体との連携を強化しました  
●災害時応援協定については、北海道コカ・コーラボトリングと災害時の飲料供給などを目的とした応援協定を締結しました

5 新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組めます

●夜間・休日急病センターとの機能分担を進めるとともに、スタッフ確保と体制強化を行い、救急体制の充実を図りました。また、放射線治療装置による治療を開始するなど、高度医療の充実に取り組めました

6 防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります

●自主防災組織に対する助成金制度の創設や防災講座の開催、用具貸出など、自主防犯パトロール隊の活動を支援しました。また、交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーなどの意識向上に努めました

# 市長公約

## 取り組み 状況(概要)

5つの基本政策を柱とする30項目にわたる公約について、20年度に実施した内容と、今後実施する主な内容をお知らせします

詳細 政策推進課 ☎32-6039

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> で政策推進課 検索

「市長公約の取り組み状況」の冊子は、市役所7階政策推進課で配布しているほか、市役所2階情報コーナー、ホームページ、勇弘・のぞみ出張所、各コミセン、植苗ファミリーセンター、中央図書館でご覧いただけます



### 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

1 第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政計画を策定します

●行政改革は、「第3次行革計画」に基づき着実に実施し、90%の達成率となっています  
●財政健全化は、「新健全化計画」に基づき取り組みを進め、設定した3指標は、19年度決算において、いずれも目標値をクリアすることができました  
●21年度は行政改革と財政健全化を引き続き推進するため、新計画を策定します

2 ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します

●ごみ収集業務は、4台分を民間に委託するとともに、21年度からの委託拡大について取り組みを進めました  
●市営バスは、「受委託事業者選定委員会」を設置し、民間移譲に関する市の基本姿勢・基本方針について意見などをいただきました  
●学校給食センターは、移転新築へ向け、設計・調査を行うとともに、調理業務の方式について検討を開始しました  
●高砂下水処理センターは、平日の夜間・休日の運転管理業務を民間委託しました

3 周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます

●「オールいぶりフェア」などの周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催したほか、新たな広域戦略として、胆振管内全自治体で構成する「いぶり次世代鉄道政策研究会」を設立しました

4 地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います

●市民自治のまちづくりを実践するため、「市民参加条例」を制定しました

5 指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます

●ウトナイ交流センターなど3施設の指定管理に係る選定作業を実施しました。21年度は、昨年度実現できなかった文化交流センターなどへの導入に向けて取り組みを進めます

6 21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します

●「総合計画第5次基本計画」に基づき、各施策に取り組みました。21年度は、「第2期実施計画」を策定します

### 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苦小牧 愛します！

1 「氷上の甲子園(全国高校アイスホッケー大会)を充実発展させるとともに、苦小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります

●全国高校アイスホッケー大会は、参加地域の拡大や試合数の増加、スキルコンテストの開催など、大会の充実発展に努めました  
●アイスホッケー留学については、ナショナルトレーニングセンター事業の活用などを検討しました

2 アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します

●新たに宿泊を取り入れ、プロの演奏家の指導のもとで演奏レベルの向上と参加者同志の交流を深めることを目的とした「青少年ミュージックキャンプ」を開催しました

3 図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります

●図書館・博物館運動は、ボランティアなどによる読み聞かせや、博物館友の会などと協働した各種事業など、市民参加による事業を積極的に実施しました

4 特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します

●錦岡小学校など4校に特別支援学級を設置するとともに、支援員4人を配置しました。また、特別支援学級設置校を中心に小中学校、幼稚園、保育園が相互に連携し、特別支援教育の充実を図りました

5 公平、平等な社会の実現のための施策を推進します

●男女共同参画プラン21を見直した「男女平等参画基本計画(第2次)」を策定しました

6 市民同士の国際交流を進め、国際都市苦小牧を育てます

●秦皇島市友好10周年事業により交流を深めるとともに、庁舎内に国際交流サロンを開設したほか、在苦外国人との「ぐるりWORLD交流会」を開催しました

### 産業流通の活性化、働く明るい笑顔あふれるまち

1 苦小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます

●東港区は、国際コンテナターミナル機能を東港区へ一括シフトするとともに、引き続き関連施設や耐震強化岸壁の整備を進めました  
●西港区は、既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路を整備するほか、漁港区の拡張に向けた調査・設計に着手しました

2 交通・流通・医療・広域連携などさまざまな機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します

●環境調査などを進めるとともに、北海道に対し、建設事業主体となっただけのよう、東胆振管内自治体と経済界関係者で要請しました

3 トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります

●トップセールスなどで約130社を訪問したほか、工業団地視察会を開催し、道内外の企業に参加していただきました

### 人のち苦小牧 導きます！

4 市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます

●市域の東西バランスは、地域の実態と均衡に即した公共施設の整備を進めました  
●中心市街地は、市中心部への居住需要を把握するアンケート調査を実施し、まちなか居住推進の検討を進めました

5 ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます

●観光会議の立ち上げへ向け、関係機関との協議を進めるとともに、体験観光の魅力をアピールし、観光客の誘致促進を図りました。21年度は「ビジット苦小牧観光会議」を設置し、苦小牧観光の推進を図ります

6 地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます

●「東胆振地産地食フェア」などのイベントを通じて、地産地消を推進するとともに、学校給食において、地元産品の使用拡大を図りました

### 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

1 リサイクルの推進とごみの減量化を図ります

●「053大作戦」を継承した取り組みを実施するとともに、「資源回収団体奨励金制度」により、集団回収活動の推進に努めるなど、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました

2 京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります

●市域全体の温室効果ガス排出量削減を目指す「地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました

3 第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます

●全国植樹祭会場跡地で森林づくりフォーラムを開催したほか、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めました

4 美々川流域の自然環境保全指定に向けた活動を続けるとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます

●自然環境保全地域指定は、重点要望事項として、北海道などの関係機関へ要望しました  
●環境監視については、常時・定期的に測定するとともに、大気・水質測定機器の更新や騒音測定装置を増設し、監視体制を強化しました

5 上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します

●「水道ビジョン」に基づき、水道施設の更新事業や耐震化事業などを実施しました

6 環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます

●市民団体とともに講演・実演会を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めました。また、BDF燃料をごみ収集車に利用するとともに、低公害車を導入しました